



外部委託が進む
学校給食業務

通年型予算を組んだ理由

骨格予算を避けた



小林 光 議員

質問 8月の町長任期切れをひかえ、通年型の予算を組んだのはなぜか。

答弁 通年予算を組んだというより、骨格予算を組む事を避けたということです。
富士見町の置かれている立場は、町長が誰になってもどうしてもしなければならぬ事があります。継続的な事業については全部拾い上げました。新しいことについて、これにとびぬけた内容には着手していません。

質問 国旗掲揚・国歌斉唱について、「強制するべきものではない」と言った意味は。
答弁 教育は「教育指導」とか「助言」といった言葉がなじむもので、「強制」とか「処分での押し付け」はなじまない行為です。
これが教育の本質だと思えます。あくまでも児童生徒、教職員が国旗・国家の必要性、理解を深めていき、自発的にそういう心が育まれていくことが教育の本来あるべき姿だと思っています。

国旗掲揚・国歌斉唱は 自発的に育まれる姿に



小池 久長 議員

質問 人件費の軽減と専門的な知識を町民に提供するために、事業を外部委託する考えはないか。社会変化に対応して休日開庁をする考えはないか。

答弁 外部委託は、学校と保育園の給食及び公有財産の登記事務などを進めています。
ただし外部委託により職員の技術や能力が低下する恐れがあります。
休日開庁については、急な事務処理は宿直や日直で処理が出来ていると考えますので、今のところ考えておりません。

ゆとり教育の指針は ウィークエンド事業を推進

質問 学校でのゆとり教育から方向転換しようとしている政府案に対する当町の指針は。

答弁 ゆとり教育を脱却して学力重視への発想ではなく、町として進めてきたウィークエンド事業を一層推進したいと考えています。
子供が「学ぶことへの本来の喜び」を実感できる授業ができるよう支援をしていきます。
※ウィークエンド事業 週末を利用し、自然・社会体験学習を開催。対象は小学生。参加は自由。